

ワシントン条約締約国会議で大西洋クロマグロが取引禁止の対象とならないよう適切な対策を求める意見書

大西洋クロマグロをワシントン条約の附属書Iに掲載することが提案されているが、掲載されると「絶滅のおそれのある種」として、国際取引が禁止される。

しかし現在、大西洋クロマグロは絶滅のおそれのある種に該当せず、また大西洋まぐろ類保存国際委員会が漁獲規制の強化による維持・管理を行っている。

大西洋クロマグロが取引禁止となれば、他の地域や魚種への波及も懸念され、国内の水産業や国民の食生活に大きな影響を及ぼす。

よって、国においては、大西洋クロマグロが取引禁止の対象とならないよう適切な対策を講じられることを強く要望する。

〈提出先〉 内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、水産庁長官

可決した 意見書(概要)

第一回定例会で可決した意見書は次の五件です。

そのうち、クロマグロの国際取引に関連する意見書(左記)は、三月十三日より開催のワシントン条約締約国会議に先立ち、三月三日に可決・送付をしました。

栄養教諭の配置促進を求める意見書

近年、国民の食生活をめぐる環境が大きく変化しており、健全な食生活の実践のために、食育の推進が喫緊の課題となっている。

子供たちに対する食育を推進するためには、学校での食に関する指導が重要であり、栄養に関する専門知識を持つ栄養教諭を中心に各校での指導や家庭、地域との連携に取り組むことが不可欠である。

また、国の食育推進基本計画では、栄養教諭を指導体制の要としている。

よって、神奈川県においては、学校栄養職員の栄養教諭への円滑な移行に向けた取り組みなど、栄養教諭の一層の配置を促進するよう強く要望する。

〈提出先〉 神奈川県知事

食品表示制度の改正を求める意見書

繰り返される加工食品原料の産地偽装事件や毒物混入事件などから、多くの消費者が食の安全・安心を求め、日本の食料自給率の向上を望んでいる。

このためには、食品のトレーサビリティとそれに基づく表示制度の抜本的見直しが必要であり、国においては次の措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 加工食品原料のトレーサビリティと原料原産地の表示を義務化すること。
- 2 全ての遺伝子組換え食品・飼料の表示を義務化すること。
- 3 クローン家畜由来食品の表示を義務化すること。

〈提出先〉 内閣総理大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)

核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

核兵器を廃絶し、真の恒久平和を実現することは人類共通の願いである。09年4月にプラハで行われたオバマ米大統領の「核兵器のない世界」に向けた演説以降、核兵器廃絶に向けた世界的な流れが加速している。

このような状況にある今こそ、国際社会が一致して核兵器廃絶へ具体的な行動を起こしていくときであり、日本政府は唯一の被爆体験を持つ国の政府として、積極的な役割を果たすべきである。

よって、国においては、平和市長会議が提案する「ヒロシマ・ナガサキ議定書」を核兵器不拡散条約再検討会議において提案するとともに、その採択に向けて取り組まれるよう強く要望する。

〈提出先〉 内閣総理大臣、外務大臣

改正貸金業法の施行に伴う消費者行政の充実等を求める意見書

深刻な多重債務問題を解決するため、過剰貸付契約の禁止などを含む改正貸金業法が06年12月に成立した。しかし、資金調達が制限された中小企業者の倒産の増加等を理由に、改正貸金業法の完全施行の延期や貸金業者への規制緩和を求める論調が一部にある。

完全施行の先延ばしや規制緩和は多重債務者の急増を招きかねず、許されるべきではない。よって、国においては次の措置を講じるよう強く要望する。

- 1 自治体での多重債務相談体制整備のための支援を行うこと。
- 2 セーフティネット貸付をさらに充実させること。
- 3 ヤミ金融を徹底的に摘発すること。

〈提出先〉 内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全、金融)



ホノルルマラソン協会表敬訪問

◎市内公共施設の視察を行いました(三月十九日)
四月より利用可能となる三浦スポーツ公園(愛称 潮風スポーツ公園)の管理棟と、改修を終えた火葬場管理棟の視察を行いました。

セレモニーの終了後には記念撮影を行いました。(左写真)

中谷議長より歓迎のあいさつを述べ、その後、ジャネット・チャン事務局長より、ホノルル市長からのメッセージとともに、日本とハワイ・ホノルルとの一層の親交を深めることについて、スピーチいただきました。

三月七日に開催された三浦国際市民マラソンの姉妹レースであるホノルルマラソン協会のロナルド・チャン副会長、ジャネット・チャン事務局長を市議会議場にお迎えしました。

議会の活動から

◎ホノルルマラソン協会の皆さんを議場にお迎えしました(三月八日)